

■「効果の見える治水事業」
愛媛県 ボウノラク川（松山市）砂防事業
『土石流から人家を守った砂防堰堤』

愛媛県中予地方局建設部長 坂本 次男



■箇所概要

ボウノラク川は、県都松山市の沖合い約10kmに位置する忽那諸島中島にある溪流で、流域面積 0.12 km²の小規模な土石流危険溪流です。

本溪流では、土石流災害から人家等を保全するため、国の離島治水荒廃砂防事業により、平成9年に砂防堰堤の整備に着手し、11年に完成しました。

流域の地質は花崗岩が風化した「マサ土」で形成され、斜面では、以前、みかん畑として耕作されていましたが、現在は、耕作者の高齢化等のため放棄地が増加しており、土石流流出の危険度が高まっています。

■土石流災害の発生状況

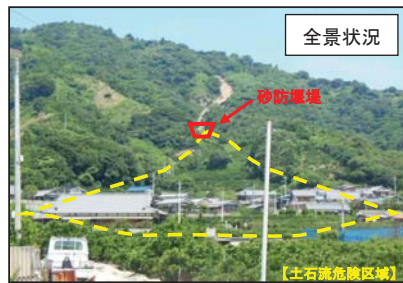
平成26年7月8日未明、松山市中島では、台風8号の影響により梅雨前線が活発化し、時間雨量46mm、24時間雨量133.5mmの豪雨となり、ボウノラク川上流で土石流が発生しました。

しかしながら整備された砂防堰堤が捕捉機能を果たし、人家(11戸)等への被害軽減に効果を発揮しました。

■土砂災害対策の取り組み

本県では、土砂災害から県民の生命・財産を守るため、ハード、ソフト両面から、土砂災害対策を推進しており、砂防堰堤等の施設整備にも、重点的・計画的に取り組んでいます。

今後とも、限られた予算の中、土砂災害を未然に防止する施設整備を着実に実施するとともに、土砂災害警戒区域等の指定を推進し、地域住民の安全・安心な暮らしの確保を図っていく予定です。



■事業概要
事業箇所：松山市長師(ながし)
事業期間：平成9～11年度
全体事業費：125.4百万円
砂防堰堤：堤高6m、堤長39.7m(不透過コンクリート堰堤)



「がけ崩れ防災対策事業」と「マッツとヤンマとモブリさん2」
～忽那諸島を舞台に、隠された宝を巡る冒険活劇～

松山市長 野志 克仁



今年の夏は、台風や局地的な豪雨により、全国各地で多くの被害が発生しました。被災された方々に心からのお見舞いと、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

松山市でも、市民の生命・財産を守るために、土砂災害対策は非常に重要な施策と考えています。そのため、比較的小規模な急傾斜地については、「がけ崩れ防災対策事業」として市が工事を実施しています。その対象箇所は市内に541か所あり、平成25年度末で345か所の整備が完了し、整備率は約64%となっています。また、本市の島しょ部であり、今年7月に土石流災害のあった中島地区においても、現在、鏡と野忽那の2箇所対策工事を実施しており、市民の皆様が安全・安心に暮らせる環境の整備に取り組んでいます。

ところで、その中島は、本市が今年、制作するオリジナルアニメーション第二弾「マッツとヤンマとモブリさん2」の舞台になります。

昨年、公開した第一弾は、道後温泉や松山城など、市街地中心部の主な観光スポットを巡る中で「人のあたたかさとちょうどいい暮らし」を感じてもらった内容で、第17回アジア太平洋広告祭(アドフェスト2014)プロモロータス・ファイナリストや第3回観光映像大賞特別賞、全国広報コンクール広報企画部門入選などのさまざまな賞をいただき、高い評価を得ています。

第二弾は、美しい海や島のある忽那諸島を舞台に繰り広げられる10分程度の冒険活劇で、10月下旬に、前作と同様にWEB上で公開します。

さらに、アニメと連動した謎解きイベントを、11月1日、2日に、アニメの舞台である中島で実施します。両日とも東京・大阪など県内外から約200人の参加を予定しています。

迫力あるアニメの映像と若年層が関心を持ちやすい「体験型エンターテインメント」を組み合わせることで、これまで以上に松山に興味を持ってもらい「いろんなよさが絶妙に程よく混ざりあう、いい、加減な街」松山に「行ってみたい」「住んでみたい」と思っただけであれば期待しています。



中島みかん園と忽那諸島



トリアスロン中島大会の舞台 姫ヶ浜海水浴場



アニメ第一弾ポスター